

おはようございます。

毎日雨が続けていますが、この雨も農家にとっては必要な雨です。一見嫌だということも、見方を変えれば、とても大切なこともあるんですね。

梅雨ももうあと少しです。室内で暮らすことも多くなりますが、過ごし方に気をつけて事故のないようにしましょう。

今日は、一つお話をします。

あるところに、荒れ放題の家がありました。だれも掃除をすることなく、蜘蛛の巣がいっぱいのそれはそれは人の住むような家ではありませんでした。ある日、一番上の兄が古道具屋で美しい花瓶を見つけました。兄はなぜかそれが欲しくてたまらなくなりました。有り金全部を使って買うと、店の主人から「これは魔法の花瓶ですよ。」と言われました。

家に帰ってそのことを話すと、家族のみんなはたいへん喜んで、父さんは花瓶を置く部屋を綺麗に掃除しました。二番目の兄は、窓ガラスをピカピカにしました。三番目の兄は窓から見える庭を綺麗にしました。四番目の兄は、庭の花壇に花を植えて世話をしました。やがて、美しい花が咲き、末の娘は花束をつくってお母さんに渡しました。お母さんは喜んでその花束を花瓶に挿しました。一つの美しい花瓶が、家族の美しさや忘れていた豊かな気持ちをよみがえらせました。

そして、もう分かったと思いますが、その家は荒れ放題の家から、古くはありましたが綺麗な家になり、家族の心もピカピカになったということです。

さて、問題です。「魔法の花瓶」には、本当に魔法の力があつたと思いますか？

これでお話しを終わります。